***全国中小企業クラウド実践大賞　過去の受賞者情報***

令和3年1月28日、オンラインにて「全国中小企業クラウド実践大賞 全国大会」が開催されました。全国大会では、札幌市、郡山市、大阪市、岡山市、福岡市で開催された地方大会に参加した中小企業・小規模事業者38社の中から選ばれた10社が、自ら推進する収益力向上や経営効率化を実現したクラウドサービス実践事例を発表しました。

≫前回コンテストリポート：<https://www.cloudil.jp/report-2020/>

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 賞区分 | 事業者名 | 実践事例の概要 |
| 総務大臣賞 | 株式会社さくらコミュニティサービス(北海道・札幌市) | 社員の英知を結集した北海道発‼KAIGOクラウドサービスの実践 |
| 全国商工会連合会  会長賞 | 株式会社ウチダレック  (鳥取県・米子市) | ～鳥取発砂だらけの DX 改革～  「不動産業界初の週休3日」「1人あたり営業利益 2.5 倍」の実現 |
| 日本商工会議所  会頭賞 | 隂山建設株式会社  (福島県・郡山市) | 建設現場を変える挑戦 |
| 全国中小企業団体中央会会長賞 | 株式会社 WORK SMILE LABO(岡山県・岡山市) | 中小企業は今こそクラウド活用で働き方変革 |

**【商工会会員企業の受賞事例】**

|  |
| --- |
| **全国商工会連合会会長賞（2019年大会）**  **株式会社航和 （岩手県・雫石商工会所属）** |
| **クラウド実践により事務作業の効率化で、介護現場の離職率を改善** |
| |  | | --- | | 介護現場では人手不足が深刻で、航和においては、2015年の離職率が28％に上っていました。原因を探ったところ「大変なのは事務作業」ということが判明。そこで、クラウドを活用した事務作業の情報共有を開始しました。  以前は、伝達事項やケアプランなどを毎日コピーし、ヘルパーに配布したり、利用者別の情報ファイルを保管するスペースが足りず、検索に時間がかかったりと、課題が山積みでした。クラウドの活用により、アップされた情報を、すぐにスタッフ全員で共有でき、コメントや写真、音声などの利用で利用者の様子をリアルタイムに把握できるようになりました。  また、利用者の基本情報や予定実績の管理、計画書作成、請求業務などのICT化、Bluetooth対応のデバイスによる朝のバイタル測定などの効率化を実現。2017年には、離職率を8％にまで削減しました。 | | 全国商工会連合会会長賞：株式会社航和 | |